

核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を目指して…

連合平和派遣団 in 広島・長崎

連合群馬では、8月5～7日に12名が広島を、8～10日には9名が長崎を訪問し、連合平和集会および原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参加しました。今日になってもまだ核兵器は世界中に1万5,700発も存在すると言われるなか、私たちは原爆被害の悲惨さを風化させることなく後世にも継承し、二度と核兵器が使用されることのない世界を作ることの大切さを、現地を訪問することで改めて実感しました。

連合平和行動に参加して…

◎広島派遣団

U A ゼンセン 日清紡労組

新田 規さん

オバマ大統領訪問の話題性もあり、例年以上に来場者が多い状況に国内外の関心の高さを感じました。

平和記念公園や被ばく状況の解説と資料で見る惨状から想像以上の負のエネルギーを感じました。

最も印象深かったのは、お二人の被ばく体験者の講話でした。被ばく者本人から語られる、痛ましく、つらい、生々しい体験談と想いは、強く激しく身につまされました。

被ばく体験者は、何れも高齢となった時代、数年もすれば本当の体験談をご本人から聞くことはできなくなり、人伝ではない本物の話が聞けたことは、今しかない貴重な機会だったと思いました。

多くの人に「早く見て聞いて来い」と言いたいです。



電力総連 東電労組

高橋 広樹さん、聖彩ちゃん（5年生）

私ははじめて広島に行き、原子爆弾がおとされた場所を見学しました。

テレビや本などでしか見たことのない、原爆ドームをみたとき原子爆弾の怖さをほんとうに感じました。そこでたくさんの人の命が一瞬でうばわれたと聞きとても悲しくなりました。

平和公園ではたくさん歩き、慰霊碑に込められている思いをガイドの方に説明していただきました。平和記念資料館で溶けて曲がってしまった鉄や瓶を見て驚きました。ガイドの方や語り部のリーさんが言ったことが写真や人形であったのでよくわかりました。

この平和行動で二度と原子爆弾がつかわれぬように願いました。こういった思いが世界中に広がればきっと平和な世界がくるのだと思いました。

◎長崎派遣団

電機連合 パナソニック・アプライアンス労組

江口 徹志さん



原爆資料館で見た、一瞬にして街が焼き尽くされ7万4千人以上の命を奪った原子爆弾、それはあまりにも悲惨な写真であり、このような悲劇を忘れない、二度と原爆を使用してはならないと強く感じました。

私たちが住んでいる日本は平和ですが平和の継続、またこの世から戦争、核兵器がなくなることを望みます。集会では被爆者体験の語りを聞き、我々も連合群馬平和行動を通じ、まずは組合員一人ひとりにこのような出来事を伝え、これから日本の将来を支える若い世代、子供たちにも継承していくことが私たちの使命だと思います。

JAM GSユアサ労組

関口 慎二さん

今回、連合群馬平和行動の長崎派遣団の一員として平和集会やピースウォークなどに参加させて頂きました。平和集会ではナガサキユース代表団や高校生平和大使などの若い世代の多さが印象的でした。被爆経験者の高齢化によって直接経験談を聴く機会は減ると思いますが、しかし後世にしっかりと受け継ぐという強い気持ちを感じました。ピースウォークではガイドの方からの貴重な話を聞きながら原爆の破壊力、恐ろしさを改めて感じる事が出来ました。今回の平和行動参加を通じ、一人でも多くの方にこの出来事を語り継いでいくことが大切だと感じました。



ららん藤岡で平和パネル展を開催

より多くの方に戦争の悲惨さを伝え、平和への意識を高めてもらえるよう、道の駅ららん藤岡で8月11～14日に平和パネル展を開催しました。

今年は、住民を巻き込んだ戦いとなった沖縄、原爆で焼け野原となった広島・長崎、現在も不法に占領されている北方領土の現在の姿などのパネルを掲示したほか、各地の語り部から戦争体験を語ったDVDの上

◆9/9～13には県庁で

映を行いました。夏休み中ということもあって、多くの方に来場していただきました。特に子どもを連れた家族も多く、不思議そうな顔でパネルを見る子どもたちに戦争について話をする姿も見られました。



平和を願い親子で鶴を折る